

総合的な学習の時間の実践

札幌市
総合的な学習
6年

Think globally act locally

単元の概要
と
単元構成

学習活動の流れ（50 時間）

活動の焦点がずれないように、ユネスコの方に来ていただき、インドの現状について詳しく教えていただきました。

- ・文字が読めなくて足を失った子供
- ・同じ年なのに働く子供 などを知る

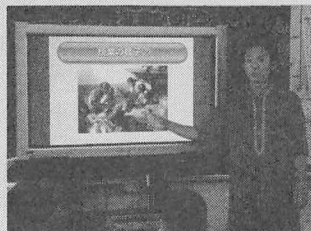
- ・対象国のインドのことを調べよう
- ・プロジェクトに分かれて活動しよう

・ポスターやリーフレットで
寺子屋運動を広めよう

・地域や学校全体に広めよう

- ・他の国についても調べよう
- ・自分にできることは何か？

ユネスコの世界寺子屋運動とは、書き損じはがきを集めたり、リーフレットを作ったりする活動です。意外な活動が外国に学校を建てるという成果につながります。



インドの学校について学ぶ

教材・活動の Point!

1. 同じ子供でも、自分たちとは違うことに気付かせる

世界の国々の様子を学ぶ学習を、共通の体験として位置付けました。同年代が抱える具体的な事実を提示することによって「自分たちも何かしたい！しなければならない！」という思いを起こさせるようにしました。

2. 書き損じはがきを集める活動を活性化させるために

ただ単に集める活動であれば、いつでも誰でもできる活動です。しかし、寺子屋運動をもっと広めるため、そしてもっとはがきを集めるために、具体的な数値目標や様々な人のアドバイスをもらいました。そのことによって活動が活性化していきました。



3. 切実感を高めるためのゲストティーチャー

はがき集めをしていく子供たちは「なかなか集まらない」という壁に当たりました。集める方法を再検討することはもちろんのこと、誰のための活動なのかを振り返るために、ゲストティーチャーに、もっと詳しいインドの実情などを話してもらいました。

